

図書館だより

開館時間(共通) 9:00~17:30

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 ☎ 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【葦山】



草原のサーカス
彩瀬まる／著
新潮社

私たちは、どこで間違えたの
だろう。姉は製菓業界の研究職、妹はアクセサリ作家。成功を収めるが、過ちを犯し、世間の非難を浴びてしまう。三人の再生の道は？

一般

【中央】



ムーンライト・イン
中島京子／著
KADOKAWA

「あなたもムーンライト・フリット(夜逃げ)でしょ」。人生につまずいた時、高原に建つ「ムーンライト・イン」で、巡り合った男女の静かな共同生活が始まる。

一般

【葦山】



クララとお日さま
カズオ・イシグロ／著
早川書房

人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョジーと出会い、友情を育んでゆく。愛とは？知性とは？家族とは？ノーベル文学賞受賞第一作。

児童

【中央】



**バルバルさん
きょうはこどもデー**
乾栄里子／文
福音館書店

バルバルさんのとこや、毎月5日がこどもデーです。人間も、動物の子どももやって来ます。5匹の子羊は、見分けがつくようにいろいろな髪形にアレンジしました。

新着本コーナーから

- 一般 その扉をたたく音 瀬尾まいこ／著 【中央】
- 一般 無刑人―芦東山― 熊谷達也／著 【中央】
- 一般 再建の神様 江上剛／著 【葦山】
- 一般 オムニバス 菅田哲也／著 【中央・葦山】
- 一般 じぶんで考えじぶんで話せるこどもを育てる哲学レッスン 河野哲也／著 【葦山】
- 一般 富士山と山麓の野鳥―季節ごとに― 水越文孝／著 【中央】

5月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	⑧
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	⑱	20	21	22
23	⑳	25	26	27	28	29
30	㉑					

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

5月のおはなし会

中央図書館 8日(土) 11:00~
葦山図書館 8日(土) 14:00~
22日(土) 14:00~
くぬぎ会館こども広場※予約制
20日(木) 10:10~
○感染防止対策を施したうえで実施します。

お知らせ

おはなし会に来てください

こども広場でのおはなし会を再開しました。
毎月第3木曜日 10:10~
予約制です。こども広場(☎0558-76-1346)にお問い合わせください。

◇
中央・葦山図書館のおはなし会は事前申し込み不要です。
○中央図書館
とき/毎月第2土曜日 11:00~
ところ/2階視聴覚室
○葦山図書館
とき/毎月第2・4土曜日 14:00~
ところ/幼児図書室
ぜひ、親子でお越しください。

文化財通信

その191

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡

第5回 北条義時に関わる文化財 ①

【北条氏の館・寺院】

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428



北條義時屋敷跡の碑

伊豆の国市では、多くの文化財に義時はじめ、時政、政子など北条氏の足跡を見ることができます。第5回は、発掘調査で明らかになった館や寺院を紹介します。

葦山地区寺家の守山の麓、狩野川さくら公園の近くに「史跡北条氏邸跡(円成寺跡)」という国指定史跡があります。この史跡は、鎌倉時代の北条氏の館跡と南北朝・室町時代の寺院跡の複合遺跡です。発掘調査によって、堀に囲まれた大小の建物跡が規則的に並ぶようすが明らかになりました。井戸や排水用の溝など、生活に関わる遺構も見つかっています。

また、出土した遺物の年代から、館は平安時代終わり頃に始まり、鎌倉時代初めから前半に最盛期を迎えることがわかりました。ちょうど鎌倉幕府が成立し、北条氏が台頭した時期にあたります。

しかし、この遺跡は、鎌倉時代中頃になると建物跡が少なくなり、後半には、ほとんど人が住んだ形跡がなくなっています。館が栄えたのは、時政・義時・泰時の3代までで、その後、北条氏の生活の中心は鎌倉に移ってしまっただけでしょう。鎌倉幕府が倒れ、北条氏が滅亡すると、円成尼という尼僧がここに円成寺を建立します。再びこの地は寺院として栄えていくのですが、円成寺の話は後半の回にしましょう。

それでは、江間小四郎と呼ばれた義時の江間の館はどこにあるのでしょうか。江間公園の一角に「北條(義時)屋敷跡」という石碑が建てられています。この石碑は、『増訂豆州志稿』(明治25~28年刊行)の「義時の館は、南江間町屋の江間尋常小学校の敷地である」という記述に由来し、小学校の跡地である江間公園に建てられました。ただし、公園周辺でこれまで行われている小規模な発掘調査では、義時の時代のものは発見されていません。義時の館の具体的な姿は、考古学的には未だ謎です。いつか発掘調査によって、義時の館が明らかになる日が望まれます。

発掘調査によつて明らかになった義時の足跡は願成就院にあります。本堂の山側を発掘調査した際に、お堂の礎石や雨落ち溝の一部が見つかっています。『吾妻鏡』には、建保3年(1215)に、義時が時政の供養のために「南新御堂」を建立したと記されています。時政が文治5年(1189)に建てたお堂は、現在国宝の仏像群が安置されている大御堂の位置に想定されていますので、その南側で見つかった礎石は義時の建てた南新御堂の一部と考えられます。

義時の足跡は、私たちの足下に確かに残されています。今後、さらに新事実が発見されるかもしれません。

※史跡北条氏邸跡(円成寺)は、4月1日から一部公開しています。詳細は本号10頁をご覧ください。



南新御堂の礎石と雨落ち溝